

令和3年11月25日	
資 料 提 供	
担当課	企業振興課
担当者	西田・中嶋・田端
電 話	073-441-2757

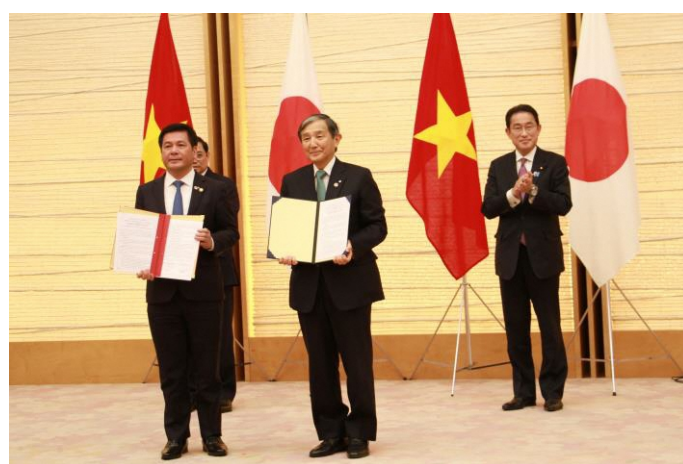
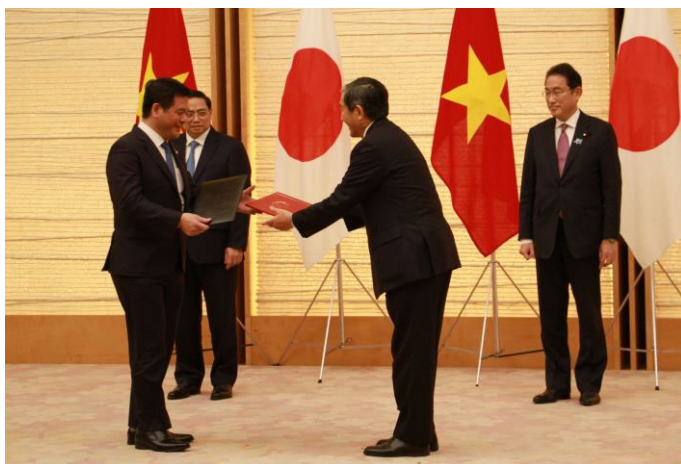
首相官邸にて、ベトナム・日本両国首相立ち合いの下、 ベトナム商工省との覚書を更新！！

- ・日 時：令和3年11月24日（水）19：10
- ・場 所：首相官邸
- ・署名者：仁坂吉伸 和歌山県知事、グエン・ホン・ジエン 商工大臣
- ・立会人：岸田文雄 内閣総理大臣、ファム・ミン・チン 首相
- ・趣 旨：

日本産温州みかんのベトナムへの輸出が解禁されたことを受け、今後、両国の農産品のみならず、産業製品においても現地プロモーションを拡大させるため平成30年10月に締結した覚書を更新。

同日行われた仁坂知事とジエン商工大臣との会談では、人材協力や技術協力を活発に実施していくことで合意。

政府が進める経済分野における日越友好協力関係を更に深化させることに貢献。



1. 覚書の交換

- (1) 日時 : 令和3年11月24日(水) 19:10~19:20
- (2) 場所 : 首相官邸
- (3) 署名者: 仁坂吉伸 和歌山県知事、グエン・ホン・ジエン ベトナム国商工大臣
立会人: 岸田文雄 内閣総理大臣、ファム・ミン・チン ベトナム国首相

2. 商工大臣との会談

- (1) 日時 : 令和3年11月24日(水) 14:00~15:00
- (2) 場所 : ホテルニューオータニ
- (3) 会談者: 仁坂吉伸 和歌山県知事、グエン・ホン・ジエン ベトナム国商工大臣
- (4) 会談概要:

ジエン大臣から、ベトナムは欧米をはじめ数多くの国と協定を締結しており、日本との関係を更に強化していくにあたり、特に和歌山県との関係では、本覚書の内容を着実に実施し、人材育成や食品加工などの分野における技術指導の協力、更にベトナム企業の日本・和歌山県への進出にも協力いただきたい旨を発言。

これに対し知事は、和歌山県からベトナムに進出し、製品を生産している企業や、今後、進出を検討している企業も数多くあり、ベトナムへの関心が非常に高まってきている。ベトナムから日本への投資や、本覚書にも記載のある人材の育成、IT・農業をはじめとする様々な分野での技術指導も大歓迎であり、県・ジェトロ和歌山が一体となって協力していきたいと応答。

【参考1】覚書締結の経緯

- 和歌山県では、外国との覚書を締結する際、県内事業者の進出や商談機会を最大化できるよう、[相手国全体を所管する中央省庁との連携関係](#)を構築するよう取り組んでいます。
- ベトナム商工省は、貿易・産業振興のため日本との協力を求めていたことから、商工業分野でベトナム国との経済交流の活性化を図りたい本県のニーズが一致。ベトナム側より、フック首相（当時）の来日に合わせ、具体的成果の一つとして本件覚書を位置付けたいとの強い要望があり、平成30年に覚書の締結に至りました。
- [今般、チン首相、ジエン商工大臣が就任し、初来日に合わせて覚書の内容を拡充したいとの要望がありました。](#)令和3年10月1日にベトナムへの日本産温州みかんの輸出が可能となったことで、今後、県の農産品や産業製品の現地プロモーションを一層拡大することを念頭に、覚書を拡充しました。

【参考2】和歌山県とベトナムとの交流

平成25年8月、二階俊博日越友好議員連盟会長の招きにより、トー・ファイ・ルア越日友好議員連盟会長（当時）らが来県したことを契機とし、平成27年3月には、ベトナム農業農村開発省との間で覚書を締結し、農業・食品分野の連携事業を展開。合わせて派遣されたビジネスミッションを契機として、ハノイ工科大学から留学生を和歌山外国語専門学校で受け入れるなど、双方からの訪問団の派遣や人材交流を継続的に実施しています。（主な交流の実績：別紙）

令和元年7月には、ベトナム国の投資セミナー及び企業間商談会を県内で実施し、11月にはダナン市セミナー及び企業商談会を実施しました。また、令和2年2月には、下副知事を団長とするビジネスミッション団をベトナム国に派遣し、現地における商談会を実施するなど、継続的に交流を実施しています。

【参考3】和歌山県と海外との経済交流

- 和歌山県では今回署名したベトナム商工省以外にも、様々な国や機関との間で覚書を結び、経済交流を実施しています。今後も、県内の企業の皆様のニーズに応えられるよう、積極的に海外市場への展開を支援していきます。

＜海外と和歌山県の協力協定＞

- 平成19年 中国山東省との経済協力枠組み
- 平成25年 香港貿易発展局との覚書
- 平成25年 インド・マハラシュトラ州との覚書（平成30年更新）
- 平成26年 台湾(台日産業連携推進オフィス/TJPO)との覚書
- 平成27年 ベトナム農業農村開発省との覚書
- 平成27年 スペイン・ガリシア州との覚書
- 平成28年 インドネシア商業省との協力に関する共同声明
- 平成29年 インドネシア工業省との協力に関する共同声明
- 平成30年 ベトナム商工省との覚書
- 令和元年 タイ工業省との覚書
- 令和元年 タイ商務省との覚書

《お問い合わせ》

商工観光労働部 企業振興課 担当：西田、中嶋、田端
電話：073-441-2757

<別紙 参考：県とベトナム国との主な交流の実績>

年	月	概 要
2013 年 (H25)	8	トー・フイ・ルア越日友好議員連盟会長、ドアン・スアン・フン駐日大使ら29名が来県。平池緑地公園視察、清洲の里でのベトナム蓮植苗式を実施。二階堂専業議員（日越友好議員連盟会長）、中村紀の川市長らが参加。
	11	ベトナム（越日友好議員連盟）から紀の川市に蓮の花摘み取り用小舟が寄贈される。以降、更にたらい型小舟、傘帽子「ノンラー」が寄贈される。
2014 年 (H26)	4	レ・フュ・ロック・ビンディン省人民委員会委員長、ホー・クオク・ジュン同省 副委員長 レ・クオック・ティン在大阪総領事ら22名が来県。県水産試験場、那智勝浦町のマグロ関連施設・熊野古道などを視察。
2015 年 (H27)	1	トラン・シー・スー・ハー・ビンディン省人民委員会副委員長が副知事を表敬訪問。
	3	仁坂知事、築野ＪＩＣＡ関西所長、県内事業者8社がハノイを訪問。カオ・ドク・ファット農業農村開発大臣との間で「相互協力に関する覚書」を締結。チュオン・タン・サン国家主席、ホアン・チュン・ハイ副首相、ホー・チー・キム・トア商工副大臣を表敬訪問。
	9	ベトナム経済交流セミナーを和歌山市内で開催。
	11	食品加工ミッションをベトナムに派遣。県内事業者6社が参加し、ホーチミン市内ホテルにおける県産品プロモーション（ベトナムヤマト共催）、ロンアン省訪問（グエン・サン・グエン同省副委員長表敬訪問、生産現場・日越専門学校・工業団地視察）、農業農村開発省との協議、ホーチミン科学技術大学及びハノイ工科大学訪問などを実施。
2016 年 (H28)	1	ホー・クオク・ジュン・ビンディン省人民委員会委員長、レ・フュ・ロック・ビンディン省越日友好協会会長、チャン・ドク・ビン在大阪総領事ら28名が来県、知事表敬訪問。
	4	グエン・ホン・リン・バリアブントウ省共産党書記一行14名が来県し、県農業試験場（イチゴ栽培）、NKアグリ（野菜工場）を視察。グエン・クオック・クオン駐日大使が来県し、仁坂知事を表敬訪問。稲むらの火の館・農業関連施設・島精機製作所・世界遺産（熊野古道）・古座川カヌー体験などを視察。
	8	グエン・アイン・ミン農業農村開発省国際協力局副局長、グエン・バン・ラップ・ゲアン省農業農村開発局副局長他4名、ＪＩＣＡベトナム事務所職員3名が来県し、県農林水産部長を表敬（農業施策ブリーフィング）、農業総合研究所、築野食品工業を視察。
2017 年 (H29)	5	チュオン・タン・サン前国家主席、ファム・ヴァン・ラン・ロンアン省共産党書記、ヴォ・タン・トン・カントー市人民委員会委員長ら40名が来県。知事表敬・知事主催歓迎夕食会、県果樹試験場、早和果樹園、紀州技研工業、雑賀技術研究所、東洋ライス（りんくう工場）を視察。
	10	ヴォ・タン・トン・カントー市人民委員会委員長、グエン・ヴァン・ツオック・ロンアン省人民委員会副委員長ら54名が来県。ベトナム経済セミナー開催、知事表敬、ヴァイオス桃山リサイクルセンター、ＪＡ紀の里めっけもん広場、県かき・もも研究所を視察

年	月	概 要
2018 年 (H30)	10	首相官邸において、フック・ベトナム首相、安倍首相立会いのもと、アイン・ベトナム 商工大臣と仁坂県知事との間で、貿易及び産業連携促進のための覚書を締結。
2019 年 (H31)	2	ヴー・ホン・ナム駐日ベトナム社会主義共和国特命全権大使が来県、知事表敬訪問。
	3	ヴォ・タン・トンカントー市人民委員会委員長ら 22 名が来県、知事表敬訪問。併せて、 県民文化会館でベトナム・カントー市ビジネスセミナーを開催。
2019 年 (R1)	6	グエン・スアン・フック首相が来県、紀の川市にて二階自由民主党幹事長（当時）、仁坂知 事、紀の川市長らと会談。その後、平池緑地公園で開催された観蓮会に出席し、桜の木を植樹。
	8	商工省アジア・アフリカ市場局シ・ホアン・オアイン局長が来県、紀の川市で桃狩り体 験後、副知事表を敬訪問、覚書に関する協議を実施。
	8	商工省貿易促進局主催のビジネスミッション団（地方自治体 4 団体、ベトナム企業 21 社）が来県、フォルテワジマでベトナムビジネスセミナー及びビジネスマッチングを実 施。
	11	ダナン市商工部主催のビジネスミッション団（ダナン市企業 10 社）が来県、自治会館 でセミナー及びビジネスネットワークングを実施。
2020 年 (R2)	1	二階自由民主党幹事長（当時）のダナン 1,000 人ミッションに参加。 紀の川市とクアンナム省が交流覚書を締結。 外務省の対日理解促進交流プログラム「JENESYS」のスキームを活用して、6 県立高 校（橋本、粉河、日高、神島、熊野、新宮）21 名の生徒をベトナムに派遣。
	2	下副知事を団長としたミッション団をベトナム（ハノイ・ホーチミン）に派遣参加者数： 28 名（行政・機関 13 名、企業 15 名）。
	9	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、ジェトロ和歌山貿易情報センターと共同 で覚書締結国（インド、ベトナム、タイ）のビジネス環境に係るセミナーを実施。
	12	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、予定されたミッション団派遣が中止とな ったため、オンライン商談会を実施。 参加県内企業：4 社
2021 年 (R3)	7	紀の川市とクアンナム省との間で締結した交流覚書に基づき、オンライン交流を実施、 北山国際担当参事が出席。
	9	外務省の対日理解促進交流プログラム「JENESYS」のスキームを活用して、6 県立高 校（橋本、粉河、日高、神島、熊野、新宮）23 名の生徒とクアンナム省の高校生 20 名との間でオンライン交流を実施。
	10	ハー在大阪ベトナム社会主義共和国総領事夫妻が着任挨拶のため来県（知事表敬、平池 視察、有田川町長表敬、JA ありだ視察、企業訪問）